

“情熱”と“静寂”が重なる街、徳島市



FEEL! TOKUSHIMA CITY TOUR

徳島市で徳島を感じる旅



一歩ずつ、楽しめる。
巡るほど、
好きになる街、
とくしま。

市内に数多く流れる川と徳島市のシンボル眉山が四季折々の風景を紡ぎ出す街、徳島市。情熱あふれる夏の阿波おどりだけではなく、心静かに自分を見つめ直すきっかけとなる様々な伝統文化や、心はずむご当地グルメなど、数々の魅力がここにはあります。歩く度、訪れる度、あなたのFUNがきっと見つかる「FUNCITY とくしま」へ、ぜひお越し下さい。

PICKUP CONTENTS

コンテンツの魅力

AWA ODORI



世界とつながる、熱気あふれる本場「徳島の阿波おどり」

400年以上の歴史をもつ徳島市の「阿波おどり」。国内外から4日間で100万人以上が訪れる8月の阿波おどり本番では、市内中心部に複数の演舞場が設置されるほか、路上でも熱気あふれる踊りの輪が自然とわき上がり、踊り手と観客が一体となって盛り上がります。演舞場で阿波おどりを観る以外にも、気軽に阿波おどりに参加できる「にわか連」など「おどる阿呆」を体験することができます。ここ徳島市で、本場の阿波おどりの熱気を体感してみてください。

AWA ODORI



いつでも楽しめる阿波おどり、阿波おどり会館

阿波おどり会館は徳島市内中心部「眉山」のふもとにあります。ここでは毎日、阿波おどり会館専属連「阿波の風」による昼公演や有名連による夜公演が行われています。2024年2月に全面リニューアルした「阿波おどりミュージアム」では、衣装や小道具、昔と今の鳴り物などの展示のほか、デジタル技術を活用した阿波おどり体験など、楽しく体験しながら阿波おどりを学べます。また、1F「あるでよ徳島」では、数多くの徳島の工芸品や特産品を手にとることができます。

NATURE



徳島市のシンボル、眉山

「眉山」は、「眉のごと雲居に見ゆる阿波の山かけて漕ぐ船泊知らずも」と万葉集にも詠まれた徳島市のシンボル。眉山公園の展望台からは、美しい夜景や天気の良い日は、雄大な吉野川や阿讃山脈、淡路島、遠く紀伊半島まで一望できます。阿波おどり会館と山頂を結ぶロープウェイの車窓からは、桜や紅葉など四季折々の眉山の自然や徳島市街地を手にとるように見渡せます。

CRUISE



水都とくしまを満喫！ ひょうたん島周遊船

徳島市中心部の新町川と助任川に囲まれた中州「ひょうたん島」を巡るひょうたん島周遊船は、元日を除き毎日運航。両国橋北詰の浮橋から約6kmを約30分かけて1周します。屋根のない開放感たっぷりのクルージングでは、公園を散歩している人に手を振ったり、水上からの眉山の眺めを味わったりと、徳島の街を川から満喫することができます。

CULTURE & HISTORY



日本人の感性が息づく芸能、阿波人形浄瑠璃

「阿波人形浄瑠璃」は、義太夫節の浄瑠璃と太神の三味線、3人遣いの人形の三者によって演じられる人形芝居で、徳島が全国に誇る伝統芸能として現在まで受け継がれています。吉野川沿いにある「阿波十郎兵衛屋敷」では、「傾城阿波の鳴門」をはじめ国指定重要無形民俗文化財「阿波人形浄瑠璃」を毎日上演しています。また、ひょうたん島周遊船で施設を訪れる特別イベントや「藍」等のあわ文化と掛け合わせた特別展なども開催しています。

HENRO



四国遍路 徳島市内五カ所まわりの旅

徳島に来たなら体験して欲しいことのひとつが「お遍路」。徳島県内にはその第1番札所から第23番札所までが存在し、その内、徳島市内には13番から17番までの五カ所の札所があり、古くから「五カ所まいり」として信仰を集めています。第13番札所から第17番札所までは、全行程を歩いても約8km。ゆっくり歩いても1日で巡ることができます。一歩ずつ、あなたのFUNを見つけながら巡ってみてはいかがでしょうか。

